

洋書輸入協会会報

VOL. 21

NO. 5

(通巻241号) 昭和62年 5 月

理事会報告

3月26日(木)

(一) ファクシミリ

会員に対する「ファクシミリ設置のお知らせ」(3月27日付 JBIANo.490)の事務局長案を検討の上、承認した。

(二) 予算案

3月23日事務局長案を検討した上作製した総務委員会案を検討した。

(三) 外貨預金

外国出版社から送ってくる小額小切手の処理について、関係当局に陳情することになった。

(四) 文化厚生委員会

懇親旅行についてのアンケートおよび白水社の脱会に伴ない、東亜ブックが副委員長に選任されたことが報告された。

(五) 売上税

雑誌委員会と通関委員会との合同会議が、3月25日開催されたことが報告され、また今後の対策について討論された。

(六) その他

4月10日(金)

(一) 3月分および61年度収支計算・予算対比表報告通り承認した。

(二) 62年度予算案

洋書交換委員会の予算について再検討した。

(三) 脱会

3月31日付けで下記3社の脱会を承認した。

正会員 (株)白水社

準会員 栄出版貿易(株) (関西支部)

" ユニオンデザイン(株) (")

(四) 規約改正

アンケートの結果が報告され、総務委員会で検討することとなった。

(五) 売上税

出版労連の申し出について討論した。

(六) その他

理事会報告..... 1

米国、カナダ、西ヨーロッパの

学術雑誌市場について..... 2

Book Review No.117 2

よこめし・たてめし(6)..... 3

文化厚生委員会だより

72回ゴルフ第45回コンペ..... 4

おしらせ..... 4

洋書輸入協会史(19)..... 5

海外ニュース..... 7

総代理店ご案内..... 7

広 告..... 8

米国、カナダ、西ヨーロッパの 学術雑誌市場について

Allen Press は、毎年米国、カナダ、西ヨーロッパの図書館を対象とした学術雑誌の市場調査を行っております。次表は、1987年の以下の三項目についての調査結果であります。

- (一) 購入誌を全てリニューアルする図書館
- (二) 新規購入を予定している図書館
- (三) 発注の削減を予定している図書館

	米国	カナダ	西ヨーロッパ
1) リニューアル	94%	95%	96%
2) 新規	67%	61%	41%
3) 削減	6%	5%	4%

この調査によれば、米国は1987年度最も購買意欲の高い市場であります。私共の調査では、地域によっては、予算カット等の現象があるものの、全体としては米国の市場は非常に安定していると言えるでしょう。

しかしながら、医学書に関しては例外であり、18.5%もの医学図書館が予算難のため、購入誌を削減すると回答しています。

カナダにおいては、トロント大学図書館が5,000から6,000タイトルという大幅な削減を計画しております。しかし、私共の調査によればこのような予算カットは、米国同様に非常に地域的なものであり、その地域の経済状況を反映しているものと思われます。すなわち、調査対象となった図書館のうち、タイトルの削減を予定しているものは5%にすぎません。

西ヨーロッパにおいても又、1987年度は過去三年間の調査の中で最も好調な年であります。ヨーロッパの図書館は、新規購入には非常に慎重ですが、一旦購入されればそのリニューアル率は非常に高い数字を示しています。又西ヨーロッパでは特に、米ドルがヨーロッパ各国の通貨に対し値下りしており、米国の雑誌の価格競争力が強まってきております。

又各国の Subscription Agent 1,500社を対象とした別の調査では、英国を除く西ヨーロッパにおいて、ほとんどが安定した売り上げを予測しており、或る Agent はヨーロッパ、カナダ、中東そして極東において、今後二年間は学術雑誌の注文が増加するであろうと予測しています。

以上

Allen Press ジャーナル プロモーション シリーズ 1, 2月号より抄訳

(ユサコ株式会社提供)

Book Review No.117

松本 貞夫『本屋一代記 西川誠光堂』

1986 筑摩書房 374pp. ¥1,800

松田道雄氏の『私の読んだ本』(岩波新書、1971)に「雑誌を毎月とどけてくれた西川誠光堂という本屋さんとは、それ以後三十年つきあうことになった」とある。この本はその西川誠光堂とその女主人西川ハルについて書いた本である。

西川誠光堂は明治36年(1903)貸本屋としては始まり、明治40年新本と教科書とを売る店として再出発した。明治39年9月京都大学に文科大学がひらかれ、これで理、工、法、医、文の各大学がそろい、大学として完備してきた。文科大学がおかれると、39年哲学科、40年史学科、41年文学科と開講した。丸大町通りはほんの2、3メートルの道幅で、まだ市電も通っていない

時代のことである。夫の吉之助は会社勤めをやめて、いまいち外壳をはじめて、京大、三高を訪ねることになった。西川ハルは昭和12年店を実弟にゆずり、引退した。店は昭和19年戦時統制のため廃業となり、ハルはその年の12月ながく店の奥の梁に掲げられていた「誠光堂」という扁額のもとで68歳の生涯をおえた。関係者に家業をつぐ者がなく、いまはもう過去の本屋である。

ハルは31年の間本の中において、本を通して、とくに三高、京大、また府立一中の学生、教員などと深く結ばれ、「本屋衰利につきる」思いを重ねながら、新本屋にうちこんできた。大正から昭和にかけて三高生ある

いは京大生として学生生活をおくった者で西川誠光堂を知らない者はいない。もし知らない者があるとすれば、それはもぐりの学生であると言われた程である。ハルは学生のこととなるとわが子以上に世話をやいたといわれる。金のない学生には赤い表紙の「えんま帳」に記入するだけで本を渡し、上がりこんで粗末ながらも食事を供される学生もいた。さらにハルの手からちり紙に包まれた生活費をそっと手渡される者さえいたのである。松田道雄氏については、「ハルは道雄のことを『ぼんさん』と呼んだ。ぼんさんは本をよく読む子であった頃から始まり、「松田道雄は大正14年、三高に入学した。『ぼん、こんな本読んだらアカしまへん』と言って思想関係や、発禁本を手渡すこともあった」というような関係がつづいていくのである。

営業税額から判断すると大正七年（1918）頃までは丸太町本屋街第一の売上げをしめていたというから（脇村義太郎『東西書肆街考』）、事業としては成功していたのであろうが、この小さな本屋をとくに有名にし

たのは、岩波書店と特別に直接取引関係をもっていて、岩波の本はここへ行けば必ずあるということであった。岩波茂雄氏、岩波書店との関係についての記述も面白い。

この本がわれわれの興味をそそるのは多くの京大、三高関係者、出版人、流通関係者が実名ででてくるだけでなく、この波瀾にみちた時代の歴史の流れの中に位置づけながら一書店とその女主人の歴史をえがいている点である。学生運動史、出版史、とくに京都地方における書籍流通史としてもきわめて興味深い。ハルが好んでみた映画にもくわしく、映画文化史の側面ももっている。昭和8年（1933）京大滝川事件の時、京都書籍雑誌商組合は文部省に反対する立場をとり、滝川教授処分についての文官高等分限委員会が開かれるとの情報を得て、内務次官あて抗議の電報をうったことが記されている。このことはこの本で始めて知ったが、なかなか重要な事実である。

（M. I.）

よこめし・たてめし（6）

いまから2～30年前——つまり私たちが仕事の関係で遠来の客と接しはじめた頃——その頃の日本料理の、接待用のトップは「すきやき」と「てんぷら」であった。（獅子文六さんによるとこれに「おでん」を加えて、紅毛碧眼におすすめの三大料理となる。）いや、ありとあらゆる料理が氾濫しているかの観がある現今でも「すきやき」「てんぷら」の占める位置は変わらないかも知れない。そして、つくづく考えてみると、この二者のうちの一方は素材で、もう一方は処理法（つまり料理法）で、欧米の人たちにとって異質なものではないことに気がつく。

「すきやき」の材料は牛肉であり、たとえそれが彼等にとって馴染みのない砂糖味で調味されたにしろ、天下に名だたる和牛を、醤油ソースの味つけで食べてまじろうわけがない。

「てんぷら」は油を使って料理することと共に、その材料の魚類も、わりあい淡泊なものが多く、しかも油で揚げると、いう過程で（或る、てんぷら屋の名店の御主人の話によると、「揚げる」ことによって、魚肉は脱水されるのだそうだが）いわゆる魚臭さとか、生臭

さは、ほぼ完全に除かれることになる。だから、はじめて「てんぷら」を口にするお客様も、覚つかなげに箸をあやつりながら、ワンダフルを繰返すことになる。

要するに、人間、結局は食べ馴れたものが、いちばんよろしい、ということになる。ただ「すきやき」の場合、煮えた肉を生卵にくぐらせること、もう一方の「てんぷら」は大根おろしをたっぷり入れた「天つゆ」に浸すことが、彼等にとって喜ばしいことか、どうかは、一考の要があろう。

何故この事にこだわるかというと、外来のお客を日本料理に招待した場合、客は、主人側（つまり日本人側）の食べ方に、ならおうとする。なかには卒直に、「私は馴れていないから、あなたの食べる通りにする」と事前に明言する人もあるが、落語の「本膳」（庄屋から正式な食事に招かれた村人たちが、作法を知らないことの解決策として、寺小屋の先生のやる通りに真似をするお話）ほどではなくても、見つめられていると思うと、口もとがこわばる、といったような経験をされた方も、結構多勢いらっしゃるのではないでしょうか。（つづく）（K. S）

前日の雨もどこへやら、快晴に恵まれた絶好のゴルフ日和り、今回は27ホール ストロークプレイでゴルフを満喫しました。62年4月16日木曜日集合時間前には全員高根カントリークラブへ顔をそろえ、朝の賑やかな会話の内に記念写真の後、東コース1番のロングホールへ向いました。

天気も上々、パートナーにも恵まれ、日頃の疲れも吹き飛ばす様な豪快なティーショットを後に、皆さんスタートされました。何はともあれ楽しい一日でした。成績は次の通りです。

- 1位 大野(丸善) 44、43、44、net 114.5
難コースとこの成績、見事でした。
- 2位 後藤(C.マクラミン) 51、49、49、net 117.5
素晴らしいフォームとスコアでした。
- 3位 片倉(カタクラリブリ) 45、54、49、net 121
ステディなゴルフで紳士的。
- 4位 相良(紀伊國屋OB) 49、50、48、net 126
正確なショットには頭が下がります。
- 5位 西山(西山洋書) 51、48、52、net 127
安定したスコアですが、あと一歩でした。
- 6位 鶴(東亜ブック) 48、43、54、net 128.5
幹事疲れではありません。
- 7位 石原(医学書院) 57、59、55、net 129
楽しいゴルフでした。
- 8位 安田(丸善) 53、49、50、net 129.5
アイアンは良かったのですが。
- 9位 上杉(UPS) 53、49、48、net 130.5
大野さんにぜひ優勝してほしい。
- 10位 村上(東京ブックランド) 50、49、48、net 132
やっと40台が出る様になりました。
- 11位 村山(ゲーテ) 54、47、53、net 133
ハーフ47が出たから良しとします。
- 12位 竹内(八重州ブック) 45、53、53、net 136
前回よりも進歩しています。
- 13位 宮原(丸善) 53、52、53、net 138.5
上杉さんと共に大野さんを応援しました。
- 14位 喜多川(三洋) 58、55、50、net 146.5
ドライバーショットは誰にも負けない程飛びます。

- 15位 中村(国際) 61、64、63、net 147.5
新しいクラブに慣れなくて、次回は頑張ります。
- 16位 和田(大洋交易) 70、62、531、net 156
女性と廻れば優勝したのに。

ベストグロ賞 大野

ドライビング賞 相良、西山、喜多川(2)、村上(2)

ニアピン賞 安田、宮原、竹内、鶴

1986年12月20日(土)に上武カントリー・クラブで行われた第44回大会の成績は下記の通りでした。

- 1位 手塚(富士洋書) 42、45、net 76
素晴らしいゴルフでした。
- 2位 宮原(丸善) 50、42、net 78
30台が出そうなスコアでした。
- 3位 金子(オリオン) 48、47、net 79
ドライバーの調子が戻って来ました。
- 4位 相良(紀伊國屋OB) 51、43、net 80
いつも上位に顔を出されます。
- 5位 松下(丸善) 53、45、net 80
ハーフの53が痛かった。次回こそ!

ナウカの鎌田さんはあと一歩のところ。丸善の松井さん、余り調子が出なかった様ですが次回は是非入賞して下さい。

ベストグロス賞はもちろん手塚さん。

ドライビング賞は、大野、松下、和田、西山の各氏。

ニアピン賞は、安田、鶴、和田、竹内の各氏でした。

(S. T. 記)

お知らせ

洋書輸入協会事務局にファクシミリを設置いたしました。番号は次の通りです。協会への通信にご利用ください。

Fax No.(03)271-6920

(参考：電話番号は、(03)271-6901です)

洋書輸入協会史 (19)

洋書輸入協会顧問 相良 廣 明

23 CIE プランによる米書の輸入

23.1 極東貿易事件の概要

昭和25年1月に、GHQのCIE (Civil Information and Education Section, 民間情報教育局) から、米国人文科学書を英国連絡庁による英書輸入と同様な方法(注)で輸入したいという打診があった。

(注)当時の英書は、英国便節団経由外交行李による輸入の方法を取っていた。

この話が急進展して輸入代行業者を一社に絞ることとなり、通産省が手数料率によって選考した結果、極東貿易株式会社をそれに指定した。前金制、販売価格は公定換算の360円である。全部の洋書業者は、このCIEプランによる米書輸入に関する限り、すべての注文を極東貿易へ前金と共に発注しなければならなかった。

極東貿易の受注は4月下旬から始められ、各社とも得意先から前金と共に注文を頂き、極東貿易へそれを持ち込んだ。総額20万\$の規模である。ところがその入荷がはかばかしくなく、早くも11月には入荷遅延として問題化し、極東貿易へ催促を重ねたにもかかわらず一向に入荷促進の気配がなかった。

翌昭和26年は入荷の催促で紛糾を続け、半ば過ぎからは返金の交渉が始まり、10月末からは債権者会議が重ねられた。一方で同業会としては代議士小山長規氏、弁護士滝沢勝人氏に官庁に対する折衝を依頼、昭和27年3月に未納分代金が通産省より各業者に支拂われて、この事件はようやく一応の終結を見た。しかし洋書の購入先と受注した各業者の間の摩擦はなお暫くの間継続している。

この輸入代行業務はすべて前金制であったから、洋書の業者は国立大学を始め購入先からは前金を頂いてそれを極東貿易に拂い込んでいる。極東貿易は政府間貿易で通産省から指定されたところから、注文した書籍・雑誌が到着しないとなると大問題化するのが当然であろう。結果として購入先の担当者には責任問題が起り、受注し前金を受けた洋書業者は厳しい催促を受け、しかも肝腎の極東貿易は頻繁な担当者の交代で埒(らち)があか

ず、間に立った洋書業界は窮地に陥った。そのため各社は併行して始まっていた民間貿易によって二重に注文して納入したり、立て替えて返金したり、何よりも謝ったり信用を疑われたり、有形無形の大損害を蒙っている。

そしてまたこの問題は、国立大学の担当者に前金拂いに対する深刻な不信感を抱かせることになり、昭和27年に洋書前拂政令が改正されたにもかかわらず、洋書殊に洋雑誌の前拂いについては長く後遺症が残った。

この事件は、前後2年3ヶ月の間に起ったものであり、何とも不可解な不祥事件で、集めた前金を極東貿易の経営者はどうしてしまったのか、どうして注文した洋書がほとんど入らなかったのか、これ程の事件を起してどうして背任横領で起訴された人が一人も出なかったのか、未だに真相は不明である。

この事件が終わって既に35年を経過し、最早時効であるが、関係者もまだ生存しておられることであり、不祥事として取り上げるには不明の点が多くて差し障りもあることであるが、洋書輸入業界にとってはあまりにも大きな事件であり、後遺症も大きいために協会史としては避けて通ることが出来ず、敢えて推定を加えて取り上げる次第である。

なおこの章の記述には、(株)国際書房の服部正喬会長、元丸善の田辺寛氏、(株)オリオンの高野仁太郎社長、(株)ミロブックスサービスの秋葉政雄氏などにお話を伺い、参考にすると共に石川実氏の洋書こぼれ話、丸善百年史下巻の該当記事も参照しました。特に高野さんと秋葉さんは、話し辛いことを敢えて語って頂き有難うございました。この誌面を借りてお礼を申し上げます。

23.2 CIE プランの始まり

昭和25年1月17日、CIEに海外出版物輸入同業会、同業会以外でも海外出版物の貿易に何等かの関係を有しているところが呼び出され、Mr. Don Brownから米国人文科学書を英国連絡庁の下で英国使節団経由英書が輸入されているものと同様な方法で輸入したい、についてはコミッションは25%、図書館へはそれから10%引きで輸入

業務を代行出来ないかという趣旨の話があり、後日の返事を求められた。

このときは CIE の真意が不明であったが、あとから考えればこれがガリオア資金を利用する米書輸入の話の始まりであった。この話はユネスコあたりから来た話と思われる、エロア資金で工業技術書を輸入したことに続くものであった。

これに対して同業会としては理事会を開き検討の上、同業会以外に競争者もあることであり、またその後の情報で前金という条件も加わったので、コミッションは販売価格の20%、図書館へは10%引きということで、1月25日に返事している。

この間にこの問題は、CIE から通産省が所管するように指示されている。そして時間の経過と共に洋書の業界以外からいろいろ CIE—通産省に話が入り始めたのか、「3%でやれるとっている所がある。前金にもかかわらず20%も請求するとは何事か」という雲行きになってきた。これと共に政府間貿易であるために、輸入代行業者を一社に絞るということにもなり、結局見積り合わせの形となって、同業会からは丸善と国際書房など5社が通産省と話し合ったが、皆としては責任ある仕事をするためには20%のコミッションが必要として譲らず、ついにこの両者は外されて3%（または10%）を申し出た極東貿易が有力となった。

(注)この3%（または10%）という数字は確認出来なかったが、当時からそうに噂されていた。

昭和25年3月13日、同業会は臨時懇談会を開催、通産省から平井福太郎事務官が出席、民間貿易再開の話のあと、ガリオア資金による CIE プランについて次のような話があった。

- (1) ガリオア資金による輸入は、コマーシャル・ファンドに切り換え(注)、予備金より20万\$を充当する。
- (2) 注文受付は7月31日締切り。
- (3) 取り扱いは極東貿易株式会社と予定している。

(注)コマーシャル・ファンドに切り換えるの意味がよく分らないが、このためもあってか以後のこの資金による輸入は、「ガリオア資金」と「CIE プラン」の二つの名称が混用されている。結局は CIE プランが正式

名称で、ガリオア資金の方が通称ということであろうか。

23.3 ガリオアとは

GARIOA、占領地域救済資金。Government Appropriation for Relief in Occupied Areas Fund の略称。第二次世界大戦によって生じた社会生活の困難を救済するために、アメリカが占領地域において軍事費から支出した援助資金。対日ガリオアは生活必需物資として供給され、その援助物資が国内で転売換金され、その円貨が見返資金として蓄積された。それはまた、日本の貿易収支の輸入超過の穴埋めにも役だっていた。

当初は贈与的性格をもっていたが、アメリカは対日債権として返済を要求した。日本国内でもその債務性・合計額などに意見の対立があったが、政府はこれを対外債務として確認し、1962(昭37)、ガリオア=エロア協定が調印された。返済金はあわせて4億9千万ドルであった。(小学館：大日本百科事典より抜粋)

23.4 極東貿易株式会社が輸入代行業者に指定される

昭和25年4月1日付海輸74号では、「GARIOA 資金による米書輸入の件」として、「先般新聞紙上に其の元受業者を極東貿易株式会社に決定の旨掲載されましたが、これに関し且つその取扱上の為の具体的方法についての通産省の公式発表は未だなされません。然しこれも近く発表されるとのこととあります。」と会員に知らせている。

4月5日の同業会臨時理事会には極東貿易から福島氏(多分兄の京一氏であろう)が来て、ガリオアの経過とか、オーダーのこととかの説明があったが、正式発表になったのは4月25日で、26日には極東貿易が主催して説明会を開いている。

4月から9月までの CIE プランの進行状況は、9月に極東貿易が配布した文書が良くこれを説明しているのので、その要点を次に記載しよう。

記

20万\$ 米国人文科学図書輸入の
受付締切期限が延長されました

今春総司令部民間情報部の厚意に依りまして原価20万

\$に達する米国人文科学書の輸入が計画されましたので当社は通商産業省の指定を受け、日本政府一手輸入代行業者として本年4月24日受付開始以来本日に至る迄関係各方面の絶大なる御協力を得ましてこれが計画の遂行に努力を傾倒致して参りました。

すでに御高承の如く受注締切は8月25日と規定されておりました所、

一、計画実施以来、新聞、ラヂオ、雑誌、サーキュラー、ポスター、展示会を通じての強力且つ再三、再四の全国的に宣伝が最近に至ってやっと周知の徹底を見たこと、

二、全国各学校の予算の決定が遅れ然も各学校諸先生方の科学研究費の割当が本計画を考慮して例年よりはその決定が早かったにもかかわらず先に発表された受付締切日と大いに食違いがありこの方法を充分に利用することが出来なかったこと、

三、本計画に対する洋書購入の際における前金支拂制度の適用についての文部省通達が徹底に万全を期し得なかったこと、

等々の理由に依りまして遺憾ながら20万\$が満額に達しませんので先般来より関係当局と種々交渉を重ねて居りましたが、漸く総司令部の快諾を得まして、8月25日の受注締切日は来春3月31日迄延期されることになりました。

輸入諸掛費用を含めて定価1\$当り360円の廉価で米国人文科学図書が購入出来るのはこの機会を逸しては今後絶対にございませんので右御含みの上早急に最寄の書店を通じて御注文下さるよう御願ひ申し上げます。

学校、図書館にはすでに御案内の通り定価一割引の特典がございます。(以下略)

昭和25年9月

千代田区丸ノ内三菱仲三号館

極東貿易株式会社

千代田区神田神保町2ノ2

極東貿易株式会社図書部神田営業所

(注1)アンダーラインは筆者。

難解な漢字は当用漢字に置き換えるかひらがなとした。仮名遣いは現代のものに訂正。その他は原文のまま。

(注2)この極東貿易株式会社は昭和27年に解散し、現存同名の会社とは何の関係もございません。

海外ニュース

「カナダの出版界と外国資本」

最近アメリカの有名出版社が次々に外国資本に買収され、アメリカではこれを警戒して保護主義的な規制策をとれとの声も挙っている。

隣国のカナダはそれどころではないよようだ。カナダの出版協会の会長が「パブリッシャーズ・ウィークリー」誌に寄せた投書によれば、カナダで販売されている本のうち自国の著者のものは25%にすぎない。本の総売上高の75%は外国からの輸入書が占めている。小、中、高校の市場で売られている教科書類の65%は、外国資本によって所有されているか支配されている出版社から出版されたものである。このような事態だからこそカナダ政府は自国の出版産業育成政策をとらざるを得ない。アメリカはまだまたその必要はないのではありませんかというのである。

(Publishers Weekly, 2月13日号より)

一(株)紀伊國屋書店提供一

総代理店ご案内

(株) 紀伊國屋書店

☎(03)354-0131

McGraw-Hill —US—

Encyclopedia of Science & Technology

6th ed. 1987: 03

20 vols ¥322,000

JBIA DIRECTORY 1987

(洋書輸入協会ダイレクトリー 1987年版)

25.8×18.2cm 327頁 一般価格 4,000円(送料共)

会員価格 2,000円()

アメリカ化学会より1987年創刊!!



American Chemical Society
Chemical Publishers Since 1879

研究開発をバックアップする ニュージャーナル!!

Editor:

John W. Larsen

Department of Chemistry
Lehigh University

Associate Editor:

Thomas R. Hughes

Chevron Research Co.

ISSN 0887-0624

ENERGY & FUELS

ENERGY & FUELS
AN AMERICAN CHEMICAL SOCIETY JOURNAL
エネルギー燃料

原子力以外のエネルギーの化学を対象にした隔月刊誌です。扱う主題は、天然ガスからバイオマス、資源から生産、構造、組成、利用、分析、触媒など、研究論文だけでなく、コミュニケーション、書評、レビューも掲載します。

商品コード 505878

発行回数：隔月刊

年間購読料：¥65,400

★MACS(丸善エアカーゴサービス)を利用して送本されます。

※原価改定、為替相場の変動等の理由により、やむをえず価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
※ご注文、ご照会是最寄りの書店、大学生協または弊社本・支店販売部(課)外国雑誌担当までお申し付けください。



日本総代理店

本社・日本橋店：〔〒103〕東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所：東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・北千住・土浦・ららぽーと船橋)・八王子・所沢・大宮・新潟・松本・札幌・旭川・仙台・弘前・盛岡・山形・郡山・筑波・水戸・横浜・名古屋・静岡・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄・ニューヨーク・ロンドン・シンガポール

昭和62年5月

通巻第241号

洋書輸入協会

編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル612号室

☎271-6901 FAX271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎371-5329